

2008年 第79回メーデー 小沢代表挨拶

2008年4月26日

民主党代表の小沢一郎でございます。第79回メーデーをお祝いして、働く仲間みなさんに、一言、連帯のご挨拶を申し上げます。

昨年の参議院選挙では、みなさんから力強いご支持、ご支援をいただきました。おかげさまで、民主党が参議院第一党となり、与野党逆転を果たすことができました。本当にありがとうございました。

民主党は、みなさんから与えていただいた力を最大限に発揮して、みなさんと約束した「国民の生活が第一」の政治を実現するため、全力を挙げております。

私は、時には連合の会長、事務局長にご一緒していただき、あるいは私一人で全国を行脚して、地方の連合、多くの働く仲間みなさんから、直接お話をうかがって参りました。みなさんの仕事や暮らし、そして地域の厳しさを実感しております。

自公政権の下で、平均給与は9年連続で減り続け、現役世代の3人に1人が非正規雇用であります。正社員の過重な労働も、一向に改善されておりません。税金と保険料の負担が増え続けているうえに、食料品をはじめとする生活必需品が一斉に値上げされました。

そのさなか福田内閣は、公約した「消えた年金」問題の解決をしないまま、この4月、年金から医療保険料を天引きする「後期高齢者医療制度」を導入しました。

働くみなさん、お年寄りや、障がいを持つみなさんの悲痛な声が、全国いたるところから聞こえてきます。一日も早く、年金、医療をはじめ、自公政権によって壊された暮らしを立て直し、不公正な格差を是正して、「安心と安定の生活」をつくらなければなりません。

私たちは今月1日、34年間続いたガソリンの「暫定税率」という増税をやめさせました。税金のムダづかいと官僚支配、天下り・利権構造の典型である道路特定財源にメスを入れた意義は、極めて大きいと思います。

「長期の権力は必ず腐敗する」という格言の通り、平然と税金と保険料を食い物にしてきた自民党政治の実態が、次々と明らかになってきました。

しかし福田総理は、道路特定財源を一般財源にすると公約しながら、それを閣議決定も党議決定もしようとしません。それどころか、その公約と矛盾する道路特定財源の10年間延長法案の成立と、「暫定税率」の復活を強行しようとしているのであります。

道路予算はなりふり構わず死守するが、年金、医療、福祉などのお金は情け容赦なく削る。そうした福田・自公政権の悪政は、何としても阻止しなければなりません。民主党は、ムダづかいと利権を徹底的になくし、中央集権の官僚政治を終わらせて、国民の手に政治を取り戻します。

その第一歩が、あす投開票される衆議院山口2区の補欠選挙であります。自公の悪政にピリオドを打つために、あとひと押しのご支援をお願い致します。

もはや、国民の生活も怒りも限界に来ていると思います。政治とは生活であります。国民の生活を立て直すには、今こそ政権を変えて、日本を「大掃除」しなければなりません。

民主党はみなさんと一緒に、国民主導、生活第一、地域主権の新しい日本をつくります。どうかみなさん、政権交代、日本一新の大事業を、一緒にやり遂げようではありませんか。

間もなく行われるであろう衆議院総選挙での勝利を誓い合って、私の挨拶と致します。